|  |
| --- |
| **Open XML によって、ERP レポートの生成を最適化したソフトウェア プロバイダ** |
| **資産管理向け ERP ソフトウェア ベンダーである Sylogis 社は、自社ソフトウェアの統合に Open XML 形式を利用しています。同社は、Open XML を使用することにより、作業時間の節減、使い慣れたユーザー インターフェイスによる迅速なレポート生成、製品ラインすべてのモジュールへの簡単なアクセスなどのメリットを顧客に対して提供できると期待しています。** |

**ビジネス ニーズ**

資産管理ソフトウェアの開発元である Sylogis 社は、125 社以上の顧客を持つ、フランスにおける業界最大手の企業です。Sylogis 社の顧客は、100 万戸以上の住宅と 400 万平米に上る商用不動産を、物件として管理しています。Sylogis 社は顧客のニーズに、より効果的に対応できるよう常に積極的にソリューションを強化してきました。同社はインターネットをいち早く活用し、すべてのソリューションを Webで提供しています。Sylogis 社の資産管理向け ERP ソフトウェアには、大きく分けて商用不動産向けと居住用不動産向けの 2 つの製品があります。

居住用不動産市場向けには、資産管理用の製品 PortalImo Habitat を提供しています。これは企業のプロセス全体を管理するコラボレーティブな e ビジネス ソフトウェア スイートであり、運営管理、賃貸管理、財務管理、相続資産の維持管理が実行できるほか、カスタマー リレーションシップ マネジメント (CRM) ソリューション、B2B (企業間) ソリューションなどが用意されています。このスイートの対象者は、住宅の斡、資産開発に携わる担当者やその他の関連職種の担当者です。

Sylogis 社は居住用不動産市場においてさらなる普及を目指し、このPortallmo Habitat ソリューションに Open XML 形式を統合することにしました。Sylogis 社の CEO である Imad Abdallah 氏によると、Portallmo Habitat で顧客が管理するドキュメントの 9 割は Microsoft® Office system で作成されていましたが、従来この2つの環境は相互に連携できず、顧客は 2 種類のアプリケーションを切り替えて使用せざるをえませんでした。今までドキュメントを編集する場合にはPortallmo Habitat のドキュメント管理システム (DMS) からドキュメントを抽出し、Microsoft Office Word ドキュメント形式で開いて修正、保存した後、再び Portallmo Habitat の元のドキュメントに統合し直すという作業に相当の時間が費やされていたのです。

「私たちはすべてのテクノロジに例外なく対応したいと考えています。調査によると、現在当社顧客の 98% がMicrosoft Office スイートを使用しています。彼らが日常的に使用しているツール内からソリューションにアクセスできるようにすることは、当社にとって大きなセールス チャンスになると考えました」と Abdallah 氏は述べています。

**ソリューション**

**概要**

**企業名:** Sylogis

**Web サイト:** www.sylogis.com

**企業規模:** 従業員数 82 名

**国/地域:** フランス

**業種:** ソフトウェア エンジニアリング

**プロファイル**

Sylogis 社は、不動産取引業務や、経費管理、資産開発のためのソフトウェアを提供しています。1982 年に創業し、2006 年には 820 万ユーロ (1,100 万米ドル) の売上を達成しています。

**ソフトウェアとサービス**

**テクノロジ:** Open XML 形式

Java Platform Enterprise Edition (J2EE) テクノロジを使用して設計された Portallmo Habitat は、複数のモジュールから構成されています。モジュールの中には、コール センターやドキュメント管理システム (DMS) の運用に使用されるものなどがあります。Sylogis 社がまず目指したのは、生産性アプリケーション内から DMS に参照クエリを生成し、抽出したドキュメントを Microsoft Office Word クライアントを使用して編集、保存できるようにすることでした。「目標はきわめて明確でした。それは当社のソフトウェア スイート内のすべてのモジュールで、Office をユーザー インターフェイスとして使用できるようにすることでした。私たちは顧客がアプリケーションの切り替えを行うことなく、日常的な環境でそのまま作業を継続できるようにしたいと考えたのです」と Abdallah 氏は述べています。

Sylogis 社は、2003 年に自社スイートと Microsoft Office の統合を試みて失敗しています。Abdallah 氏はその経緯を振り返りながら次のように語っています。「開発に関して言えば、すべてがあまりにも複雑でした。しかしその後、2007 Microsoft Office のリリースで Visual Studio® 2005 Tools for Office (VSTO) が統合されたとき、これまでの問題が解消されると直感しました。VSTO のおかげで、Microsoft Office 内のビジネス ロジックをきわめて簡単に作成できるようになったのです」(「ビジネス ロジック」とは、Portallmo Habitat データベースと Microsoft Office ユーザー インターフェイス間のデータ交換を処理する関数アルゴリズムのことです)。

2007 年初、Sylogis 社はプロジェクトの実現可能性を検証するため 3 つのプロトタイプを構築しましたが、作業にかかった期間はわずか数日でした。1 つめのプロトタイプは、Portallmo Habitat の DMS と Microsoft Office との統合に関係するものでした。そのほかの 2 つは、財務情報のレポートを目的としたもので、同社のソフトウェア スイートのユーザー インターフェイスとして Microsoft Office Excel® スプレッドシート ソフトウェアを採用しています。すべての開発は Microsoft Visual C#® 開発ツールで行われました。それまで Java を使っていた開発者がスムーズに Visual C# を習得でき、予想していたよりも簡単に別の言語へ移行できたことは、Sylogis 社にとってうれしい驚きでした。

**メリット**

"私たちは Open XML を通じて、テクノロジの障壁を解消します。自社のテクノロジや他社のソフトウェア アプリケーションに制約されることはもうありません。これは私たちにとってさまざまな可能性を開く、まさに画期的な進歩と言えます"

Sylogis 社 CEO
Imad Abdallah 氏

Portallmo Habitat に Open XML を統合するプロジェクトによって、システムの効率化が実現し、Sylogis 社の顧客にもメリットがもたらされました。

**社員/顧客双方における作業効率の向上**

Sylogis 社の顧客は、Microsoft Office Word から直接同社のソフトウェアの機能にアクセスできるようになりました。Sylogis 社側でも、Portallmo のアップデート版で、市場投入期間の短縮を達成できました。「Visual Studio® 2005 Tools for Office (VSTO)を使用した開発のスピードには目を見張るばかりです。Microsoft Office を、お客様企業のさまざまなニーズに対応するスイートとしてカスタマイズすることができました」と Abdallah 氏は述べています。

**今後さらに大きなメリットを実現**

Sylogis 社はOpen XML を利用してレポートの生成を最適化しましたが、この Open XMLはXML を基盤としています。そこで、同社では現在、Microsoft Office アプリケーションから XSTL (Extensible Stylesheet Language Transformations) 形式で Portallmo Habitat の Oracle ベースのデータベースと連携できるように、市販ツールの活用を計画しています。これにより、Portallmo Habitat の ERP データベースから抽出されたデータは、XML テンプレートによって Open XML で処理可能な形式に変換され、各 Microsoft Office アプリケーション内で利用できるようになります。逆も同様で、各 Open XML ドキュメントに対して変換を実行すれば、それらを Portallmo Habitat のデータベースで保存することが可能になります。「私たちは Open XML を通じて、テクノロジの障壁を解消し、J2EE と Microsoft .NET の真の交流を積極的に推し進めていきます。自社のテクノロジにも、他社のソフトウェア アプリケーションにも制約されることはありません。これは私たちにとって、さまざまな可能性を開く、真に画期的な進歩と言えます」。

**Ecma Office Open XML** に関する情報については、**http://www.microsoft.com/japan/interop/openxml** をご覧ください。

※ Microsoft、Windows, Office ロゴ は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ その他、記載されている情報等は、マイクロソフトのパートナー各社における製品、サービスおよびソリューションであり、それに付随するロゴは商標または登録商標です。

※ 本リーフレットの内容は 2007 年 11 月現在のものです。

**製品に関するお問い合わせは、次のインフォメーションをご利用ください。**

■ インターネット ホームページ　 <http://www.microsoft.com/japan/>

■ マイクロソフト カスタマー インフォメーション センター　0120-41-6755

（9:30 ～ 12:00、 13:00 ～ 19:00 土日祝日、弊社指定休業日を除きます）※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

**■ご購入に関するお問い合わせは、マイクロソフト認定パートナーへ**

■ マイクロソフト認定パートナー　<http://www.microsoft.com/japan/partners>

 

〒 151-8583　東京都渋谷区代々木 2 丁目 2 番地 1 号　小田急サザンタワー